

紅旗 9 型長距離防空ミサイルの電子部品は日本製、国防安全に問題あり

環球網 20130929

阿部信行

(訳者コメント)

中国の環球網に、中国の虎の子防空ミサイル「紅旗 9 型長距離防空ミサイル」及び「中国製潜水艦」に、日本製電子部品及び航法レーダーが使用されており、国防安全上問題だとする記事がありましたので紹介します。
重要武器に外国製部品を使うことの危険性については、中国国内では何十年も前から言われており、なにを今さらとの感がありますが中国国内では世代が変わりつつあるので、改めて注意を喚起する必要があるのかもしれません。

2013 年 9 月 26 日、トルコが中国製の紅旗 9 型長距離防空ミサイル（実際は輸出用の FD-2000 型）の購入を決定したとのニュースは世界の注目を浴び、外国媒体及び軍事論壇の熱い論議を呼んだ。中国の武器開発の速度に対する驚きと同時に、一部の外国媒体は、中国工業の能力問題に矛先を向け、「中国は武器システムの開発で巨大な進歩を遂げたとは言えるものの、武器工業の基礎産業領域が他国に制約されている。特に電子部品、新型材料、半導体及び工業製造設備は長年にわたって輸入に依存している」と述べた。一部の外国ネットユーザーは、中国の紅旗 9 型長距離防空ミサイルが日本の某ブランド社が生産した AZ8112 型リレーを採用し、また中国の潜水艦が日本の某社が生産した航法レーダーを採用している写真を掲示した。(全文ソース：環球網軍事特約評論員 雷澤)

周知の通り、一国の国防産業は、その国家の工業全体と情報化能力に依存している。中国は、この 20 年間、重工業及び産業化領域で進歩が顕著であったが、半導体を主とする大規模集積回路関連産業、精密電子機器を主とする電子部品産業、及び新型材料を主とする材料応用及び材料加工領域は、日本、韓国及び欧米等に比べるといまだに巨大な差がある。中国の炭素繊維、電子部品及び半導体は、長年にわたって日本、韓国等に依存してきた。一旦禁輸措置を受けると、その結果は測り知れない。この問題を解消することが中国人の当面の課題である。我々は、国家産業及び経済発展の角度からこの問題に対処するだけでなく、国防安全及び国家戦略の面からこの問題を解決し、日本及び韓国産業への依存体制から脱出することが早急に求められている。

編集責任者：瀋則

以上